

実りの秋。読書の秋。

猛暑、台風と続き、秋がやってきました。秋は、作物が実るだけではありません。春に芽生え、夏に成長した「○○」が実る時期だと思います。さて、あなたは「○○」には何を入れますか。「努力」?「挑戦」?「協力」?皆さんのステキな秋が、どうかたわわに実りますように。



本の中から飛び出してきた料理

10/27~11/9は読書週間です。そこで今月は『聖霊の守り人』に登場する料理が給食になりました。

🍷ノギ屋の弁当風鳥めし🍷

“...買ってきてくれたのは、鳥飯だった。ジャイという辛い実の粉とナライという果実の甘い果肉をまぶして漬け込んだ鳥肉を、こんがり焼き、ぶつ切りにして飯にまぶしたもので、これもじつにおいしかった。”

🍷タンダの山菜鍋🍷

“蓋をもちあげて中を見たタンダが、うなずいて、脇のザルからキノコを取り上げている。『それはなんじゃ?』チャグムが、身をのりだして、タンダの手元をのぞきこんでいる。”

短槍使いの女バルサの強さと優しさ、新ヨゴ皇国の第二皇子チャグムの心の成長が描かれた物語です。小説も給食も存分に味わってください!



ノーベル賞にちなんで、読んでみませんか?



今年のノーベル化学賞に、リチウムイオン電池を開発した吉野彰さんが選ばれました。

吉野さんは小学生の頃『ロウソクの科学』を読み、科学に興味を持ったそうです。この本は、1861年に著者ファラデーが、ロンドンで青少年むけに行った講演の記録です。ロウソクが燃える現象を様々な観点から解説し、自然界の不思議さを紹介しています。



図書館では、企業人として製品化に携わった吉野さんが、日本の産業界について率直な意見を述べた新聞記事も掲示しています。

電池のしくみがわかる『電池はどこまで軽くなる?』や、歴代のノーベル賞受賞者に関する本もありますよ。

11月1日は古典の日



寛弘5(1008)年11月1日、『紫式部日記』に源氏物語のことが初めて記録されました。このことから11月1日は「古典の日」と定められました。

図書館には、古典の日クイズが掲示してあります。挑戦してみてください!

こんな問題があります。↓



- 五月雨をあつめて早し
江戸から東北・北陸を旅をした松尾芭蕉が『おくの細道』に収めた一句です。なんとこの川かな?
- ①吉野川 ②浅野川 ③最上川

男もすなる日記といふものを、女もしてみむとてするなり

これは『土佐日記』の書き出しです。作者は男性?女性?

答えは図書館でめくってみてね!

📖本は新しい自分への扉📖

ちょっとマニアックな本ですが…



『世界記憶遺産百科 全244のユネスコ世界記憶遺産』 ユネスコ/著
歴史上の人物にまつわるコレクション、科学的発見、人類学に関する記録…。人類の歴史的記録を保護するユネスコ「世界記憶遺産」。世界が、広がります。

『武士が活躍しはじめた、その頃のおはなし』磯水絵/文
大名や豪商が作らせた挿絵入り豪華本『保元物語』『平治物語』をもとにした絵本です。
社会や古典の授業がちょっと身近になりますよ。



『なくなりそうな世界のことば』吉岡 乾/著
世界の言語は約7,000。話者が多い言語も、少数が使う言語も、価値は同じです。むしろ限られた地域の言葉には独特の文化が生きていて貴重です。絶滅危惧の言語。守りたいですね。